



アートの学びの場

堀内奈穂子

アジアの中では、1943年にイタリア出身の美術教授シン・ピーラシーらによって創設されたタイのシラパコーン大学、また、1887年に設立され、1896年には西洋画科が創設された東京美術学校（現：東京芸術大学）など、西洋絵画の概念やアカデミックな美術教育が取り入れられてきた経緯があるが、アーティストのニーズの変化とともに技巧中心の教育や画壇などへの批判も含め、90年代以降、特に2000年代に入ると「学び」の場は多様化する。アーティスト主導によるストリートで実験的な実践を考察する場や、変化する社会・政治と芸術の関係性を批評的に議論する場、また、ローカルなそして多様なコミュニティとの対話に根ざし、「他者」との関係性の中で表現を模索するようなアートスクールが生まれている。その中には、2022年に開催されるドクメンタ15の芸術監督を務めるインドネシアのアート・コレクティブ、ルアンルパによるGUDSKULや、KUNCHI Cultural Studies Center、タイのChiang Mai Art Conversation、ベトナムのThe Factory Contemporary Arts Centreなどがあり、多様な参加者との対話の場を創出することで、歴史の再考や、より複雑化する現在の社会課題と接続して思考する動きが活発になっている。



ルアンルパの拠点となる建物、ジャカルタ
写真：パンジ・プルナマ・プトラ



GUDSKULの子ども向けワークショップ
写真：パンジ・プルナマ・プトラ



Chiang Mai Art Conversationの拠点となる建物、チェンマイ
写真：アディコム・ムクダプラコーン



Chiang Mai Art Conversationのトークイベント、チェンマイ
写真: ピーサデート・カムピラーノン

関連リンク

- Chiang Mai Art Conversation <http://www.cac-art.info/>
- GUDSKUL <http://ruru.ruangrupa.org/index.php/gudskul/>
- KUNCI Study Forum & Collective <http://kunci.or.id/>
- The Factory Contemporary Art Center <https://factoryartscentre.com/>